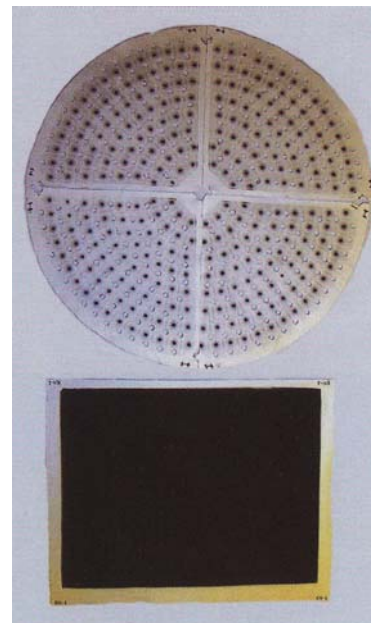


## 1. 個人データ

職名：教授 氏名：根津 豊彦 学位：博士(工学) e-mail：nezu@kobe-kosen.ac.jp

## 2. 教育・研究テーマ

### 【環境大気中に存在する汚染物質測定方法の検討開発および汚染物質の挙動について】



【道路沿道における自動車排出粒子の粒径別捕集風景(写真左)および捕集粒子(写真右)】

大気環境中には多種多様なガス状、粒子状物質が存在していますがこれらの物質の中には、現状の大気環境濃度において人体や環境に対して有害性を持つことが懸念されている物質、大気環境濃度は低く急性毒性の観点からは必ずしも直ちに影響が生じるレベルとは考えられませんが、低濃度であっても長期間暴露した場合にリスクが懸念される物質、有害性物質を生成する可能性のある前駆体物質などが存在しています。しかし適切な分析方法が確立されていないため現況が把握できない物質や、その挙動が解明できていないために効果的な環境対策効果が得られない事例も多く存在しています。また対策効果を検証していくためには地道なモニタリングを続けていくことも重要となります。このような観点にたち、大気中に存在する微量化学物質の分析方法の開発やモニタリングをとおして化学物質の挙動解明と対策技術確立のための基礎研究を行っています。

## 3. その他のデータ

### (1) 教育・研究技術相談可能分野

- ・大気汚染物質の測定方法に関する分野全般
- ・特に大気中微小粒子測定法、粒子中成分測定法、有害大気汚染物質分析法などに関する内容

### (2) 出前講義・公開講座、講演可能テーマ

- ・大気汚染一般に関する講義
- ・酸性雨の現状と対策、測定方法等に関する講義
- ・大気中粒子状物質の測定方法、成分分析法等に関する講義

### (3) キーワード

- ・環境関連化学、微量環境物質評価、分析化学、環境分析、機器分析、大気汚染